

学習領域	学習ユニット(想定)	概要	想定 時間	コンテンツ内容	学校名
				構成/修正ポイント/想定学習方法/時間見積り根拠など	
(1) 外国人介護 福祉士のた めの介護実 務日本語力	(i) 介護実務語彙力	介護分野の専門用語の他、業務一般で日常的に使用されている用語の意味・用法について理解し、実務の中で適切に使用できるようにする。	12	日本語力強化を図る既存の教育教材を分析・用語選定し、自己学習を基本とするeラーニング形式の教育コンテンツ。 練習問題(スマホ対応 eラーニング)、用語集(スマホ対応・日常200語、専門600語) 2000問 レベル2(800問)を学習対象と想定→必要に応じてレベル1orレベル3などを任意に学習。20問1セット(1問1分弱見当)	学校法人 宮崎総合学院  学校法人 新井学園
	(ii) 介護実務日本語文章	介護記録・申し送りノート等の介護実務の文書や業務一般で使用する各種書類・文書を読み解き、作成できる力(ドキュメンテーション能力)を中心に養成する。	10	介護福祉士国家試験、介護記録等を問題文の素材とした、自己学習を基本とするeラーニング形式の教育コンテンツ。 ①語順の並べ替え70問、②文の並べ替え70問、③文章の空欄補充、④接続詞の空欄補充70問、⑤文章の作成20問	学校法人 岩永学園
	(iii) 介護実務コミュニケーション A	ロールプレイングなどの手法を取り入れながら、利用者(高齢者)やその家族との日本語で対話する力(コミュニケーション能力)を中心に養成する。	12	介護現場を再現した映像教材ケーススタディを活用した、介護職に必要なマナー・接客スキルの習得・向上を図る教育プログラム  映像コンテンツ(20テーマ 全43シーン)	学校法人 宮崎総合学院
	(iv) 介護実務コミュニケーション B	ロールプレイングなどの手法を取り入れながら、他の介護スタッフや医療職等との日本語で対話・情報交換する力(コミュニケーション能力)を養成する。	4	日本語学校で標準的な日本語教育を受けた外国人介護福祉士候補者を対象にする、介護福祉分野に特化した日本語運用力強化教育プログラム。 映像コンテンツ(9テーマ)13.5H(90分×9回)、ケーススタディ教材(スマホ対応 C/S・18問)	学校法人 新井学園
	(v) 日本式接客スキル	日本の接客の考え方について理解し、ロールプレイングなどの手法を取り入れながら、状況や相手の状態に応じた適切な接客を実践する力を養成する。	6	(平成31年度開発対象)	
(2) 外国人介護 福祉士のた めの日本生 活文化と介 護事情	(vi) 日本の文化・生活・習慣	高齢者との円滑なコミュニケーションや適切な生活支援を行う上で必要・有用な日本の文化・生活・習慣を理解する。	8	日本語学校に在籍する外国人介護福祉士候補者を対象にする、介護分野の職業キャリア意識の醸成と介護事情知識の習得を企図した教育プログラム。 副読本(20講)30H(90分×20回)、確認テスト(スマホ対応 CBT・200問)	学校法人 新井学園
	(vii) 日本の介護事情・高齢者	高齢者との円滑なコミュニケーションや適切な生活支援を行う上で必要・有用な介護事情・高齢者(暮らし・歩みとその時代背景等)について理解する。	8	日本の文化・習慣・歴史・価値観・法制度・職業観・人生観等に関する知識を養成する教育プログラム。 副読本(20テーマ)40H、効果測定テスト(スマホ対応 CBT・100問)、指導者ガイド(テキスト・20頁)	学校法人 宮崎総合学院
合 計			60		